

KAKOGAWA KUTSUSHITA PROJECT

兵庫県立加古川東高校

STEAM特講

地場産業PR班

2年 小川明莉

高田楓子

1年

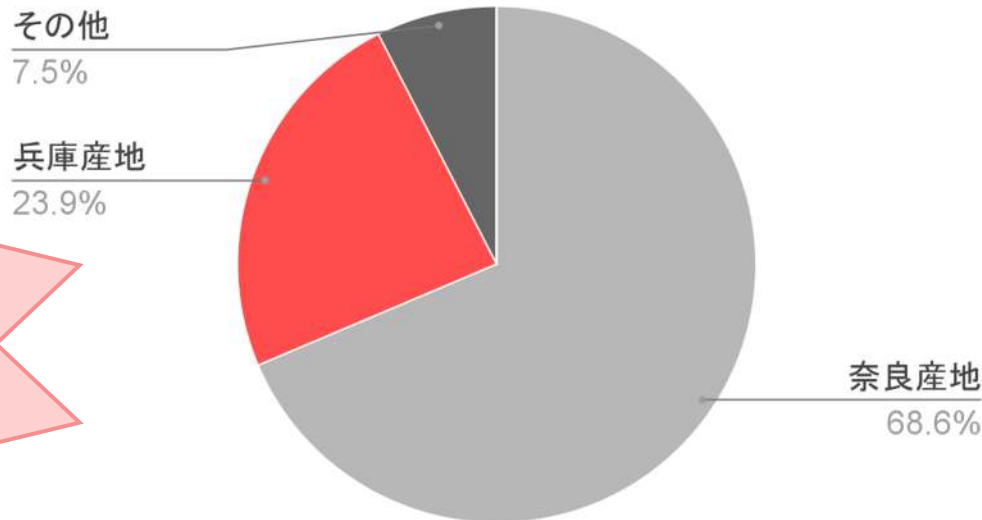
塩見珠梨

兵庫県の靴下生産量は奈良県に次いで**全国2位**

靴下産地別生産量一覧

単位:デカ(1デカ=靴下10足)

紳士用靴下の生産量は**全国1位**

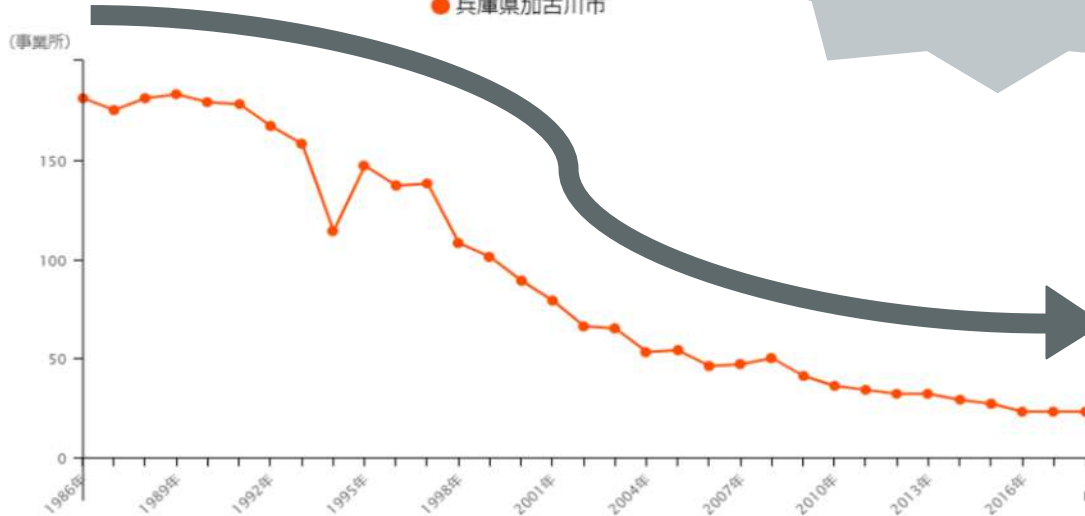


兵庫県靴下工業組合の
約7割の企業が
加古川市に所在

(2021年6月現在) 日本靴下工業組合連合会より

事業所数（実数）の推移

兵庫県加古川市
製造業 > 繊維工業
● 兵庫県加古川市



たった7年で
20所以上減少

加古川市内の靴下事業所数

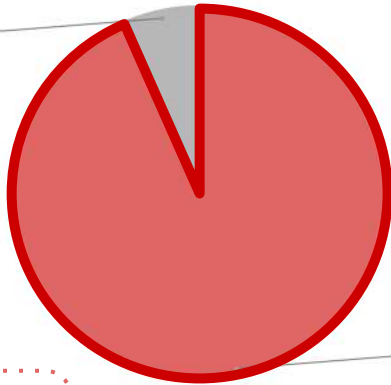
2011年 ⇒ 55所

2018年 ⇒ 39所

加古川が産地であると
知っていますか？

加古川市民の生徒75名

知らない
6.7%



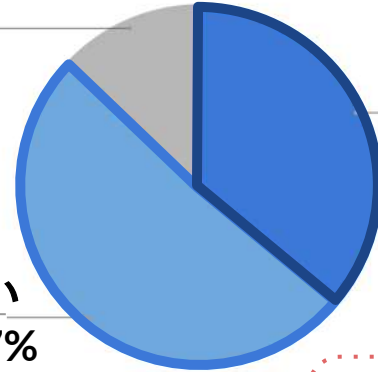
知っている
93.3%

- 知っている
- 知らない

加古川の靴下を購入したことは
ありますか？

加古川市民の生徒75名

ある
13.3%



ない
36.0%

わからない
50.7%

- ある
- ない
- わからない

①「加古川の靴下」という印象を持ちにくい点 ◀市役所 産業振興課様へのインタビュー

OEMでの製品が多く、たくさんの人が履いているはずだが認識していない

②国産がゆえに価格が高い点 ◀かこっとん株式会社様へのインタビュー

輸入品と比べると高価になり、消費者が手に取りにくい印象がある

③加古川市の高校生は購入していない点 ◀生徒へのアンケートより

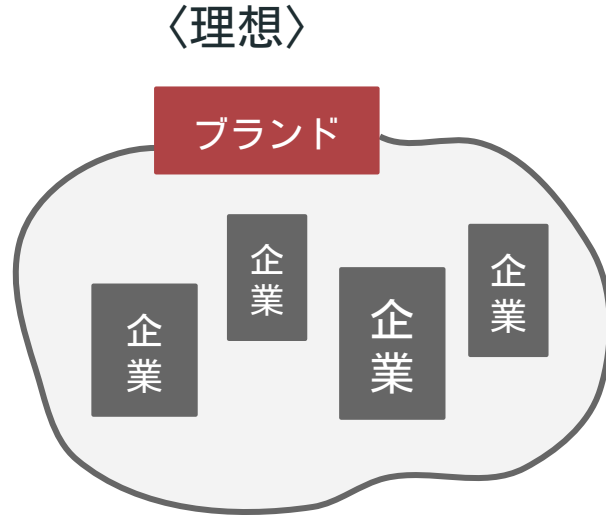
加古川市民で靴下を認知していても実際に購入している人が少ない

* 高校生でも価格的に購入は可能

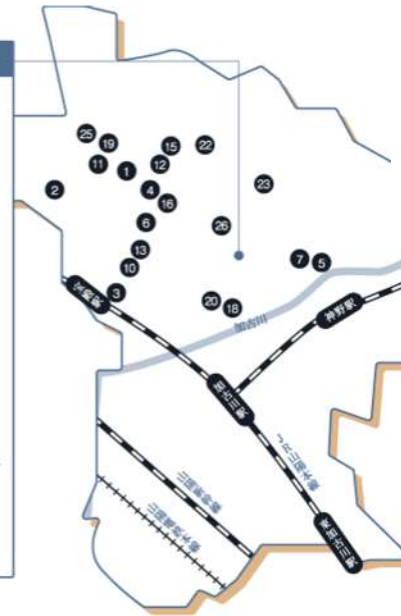


私たちの提案

加古川の靴下をブランド化



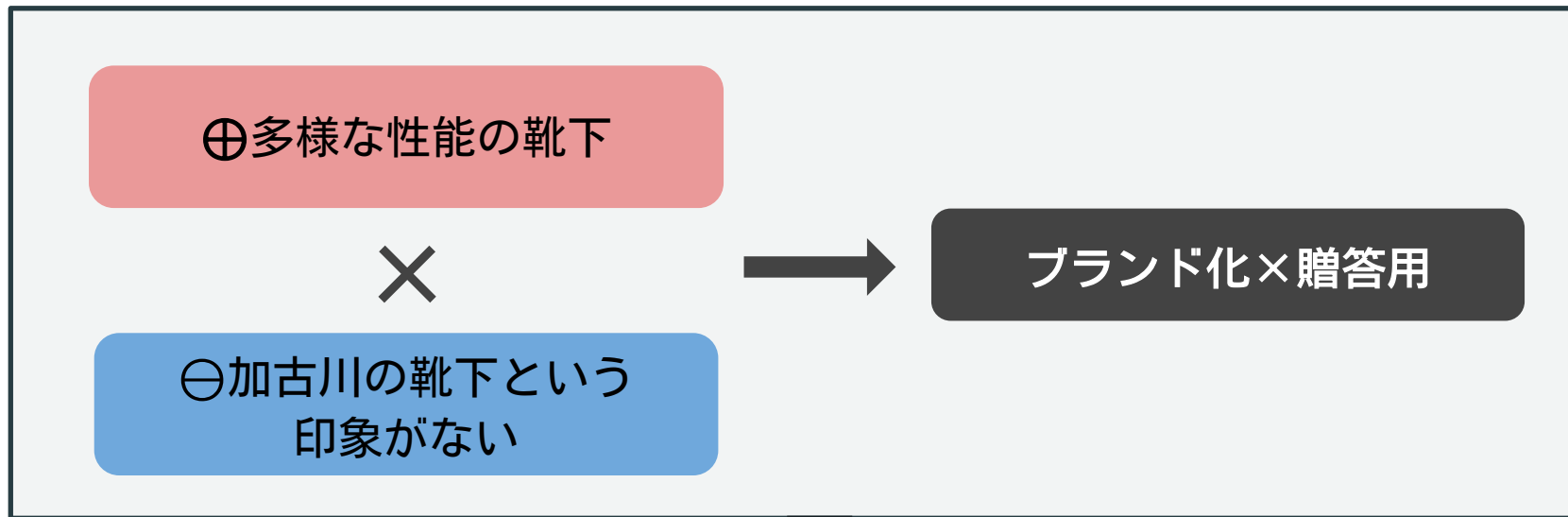
- 加古川
- 1 浅田靴下工場
 - 2 関エル・アイ・シー
 - 3 岡本商事関
 - 4 陰山実業関
 - 5 関神水
 - 6 キンキ産業関
 - 7 窪田関
 - 10 田中織植関
 - 11 関高陽
 - 12 千代田織植工業関
 - 13 関トミキ
 - 15 トモ工織植関
 - 16 関トライ
 - 18 日本編物関
 - 19 長谷川久剛商店
 - 20 関兵庫センイ・ソックス
 - 22 関松本備商店
 - 23 関ミヤシタ
 - 25 関ユニバル
 - 26 ワシオ関



兵庫県靴下工業組合より

企業同士のつながりを深め、製品にブランドという付加価値をつけ
「加古川の靴下」として販売すると、価格の問題を解決できる

ほかの靴下との差別化 ⇒ 加古川の靴下を贈答用として売り出す

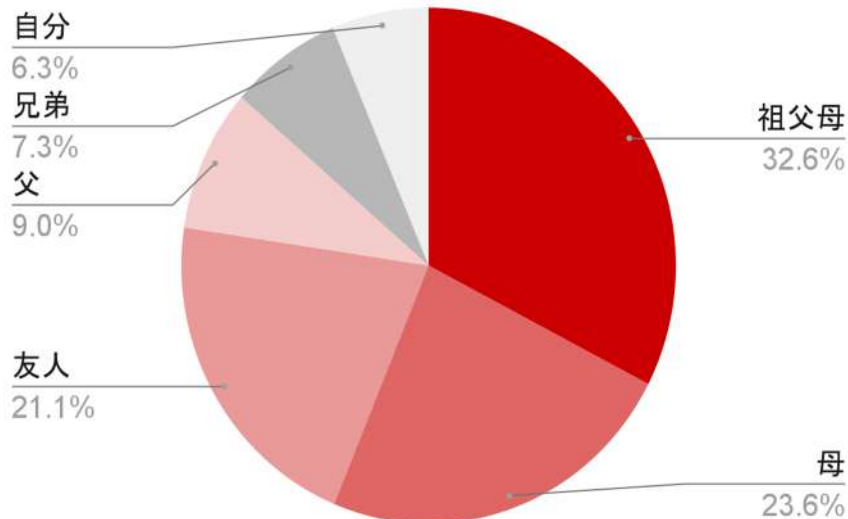


加古川の靴下 = 贈答品という認識

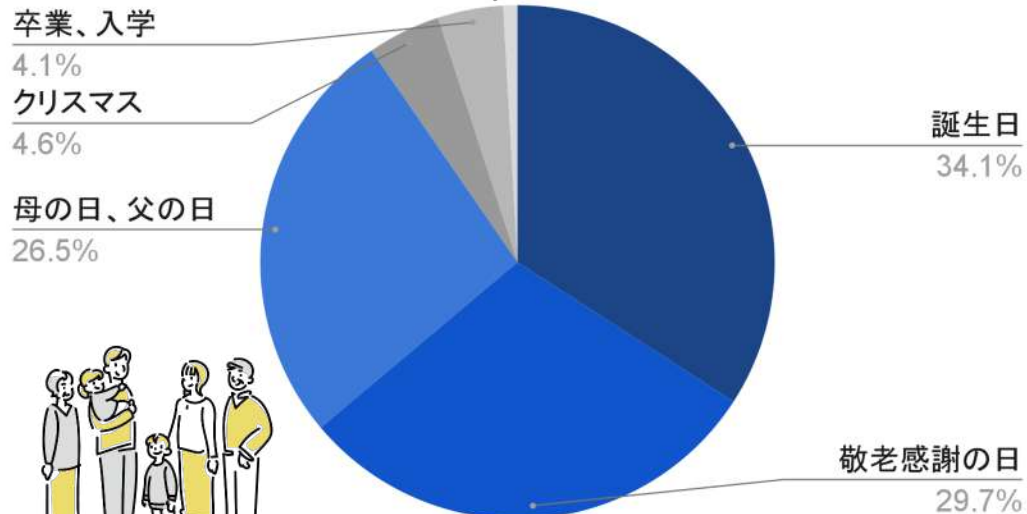
→勝機は「家族への感謝の心」にあり

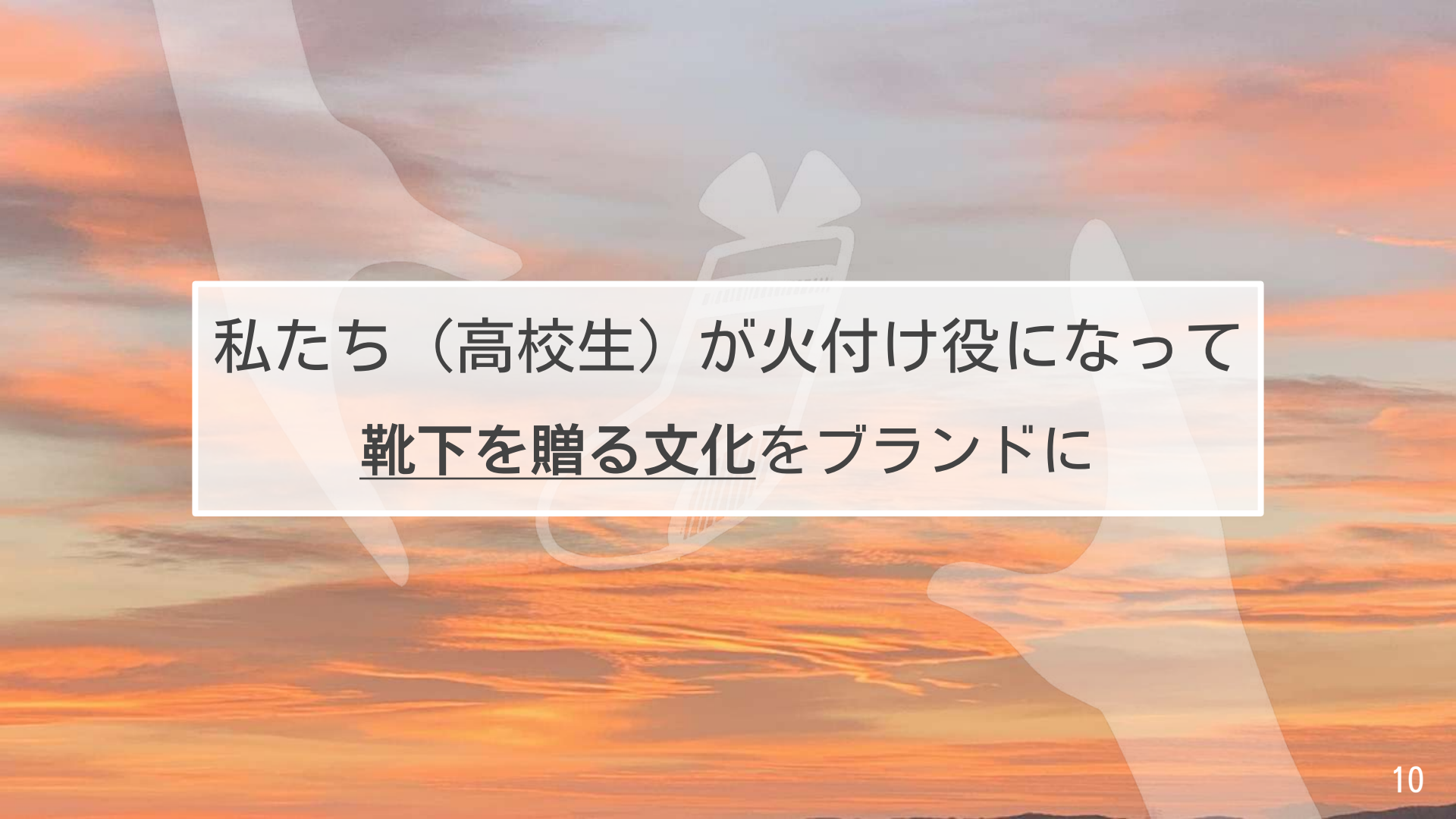
◇東校生443名にアンケート

靴下を誰に贈りたいですか？



どんなシチュエーションで贈りますか？





私たち（高校生）が火付け役になって
靴下を贈る文化をブランドに

「家族への感謝にまつわる日は感謝を込めて靴下を贈る」

という加古川の文化を作り、
私たちから広める

「感謝」「想い」を込めたギフト

文化◎

贈り物といえば靴下！！

わたしたち
高校生が火付け役になります！



➡贈答用靴下の認識・購入の増加！！

靴下=ギフトのイメージはない

①靴下だけではギフトとして物足りない

⇒ **ギフトボックス** で贈り物のイメージの強いものと結びつける

②靴下ギフトの情報にたどり着きにくい

⇒ **オンラインショップ等** で靴下ギフトと消費者の接点、購入機会を増やす
(高校生)

ギフトボックス (+メッセージカード)

ブランド側で商品と「想い」の詰め合わせをつくる

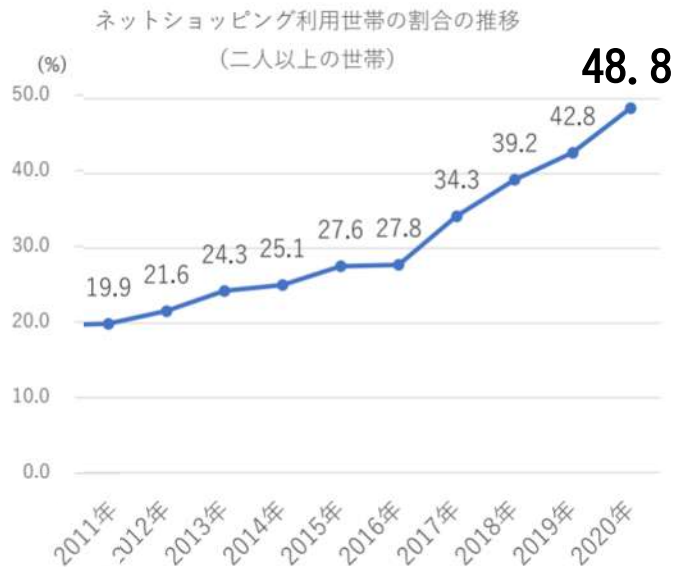
ex) お父さんへ

- ・サラリーマンの勝負靴下
- ・ネクタイ
- ・メッセージカード

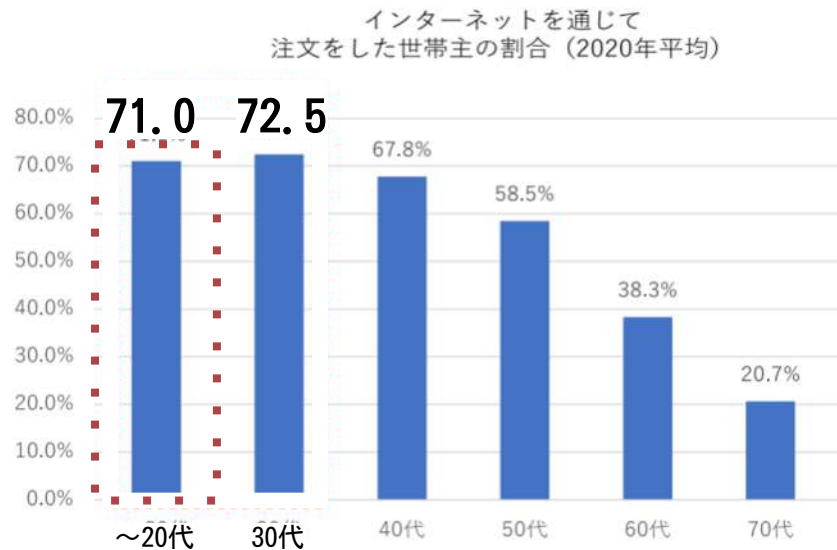


▼消費者側

ネットショッピング利用率の推移



年代別ネットショッピング利用率



デジタル庁（日本のデジタル度2021）より

▼市場側

物販系分野の BtoC-EC 市場規模及びEC 化率の経年推移
(市場規模の単位：億円)

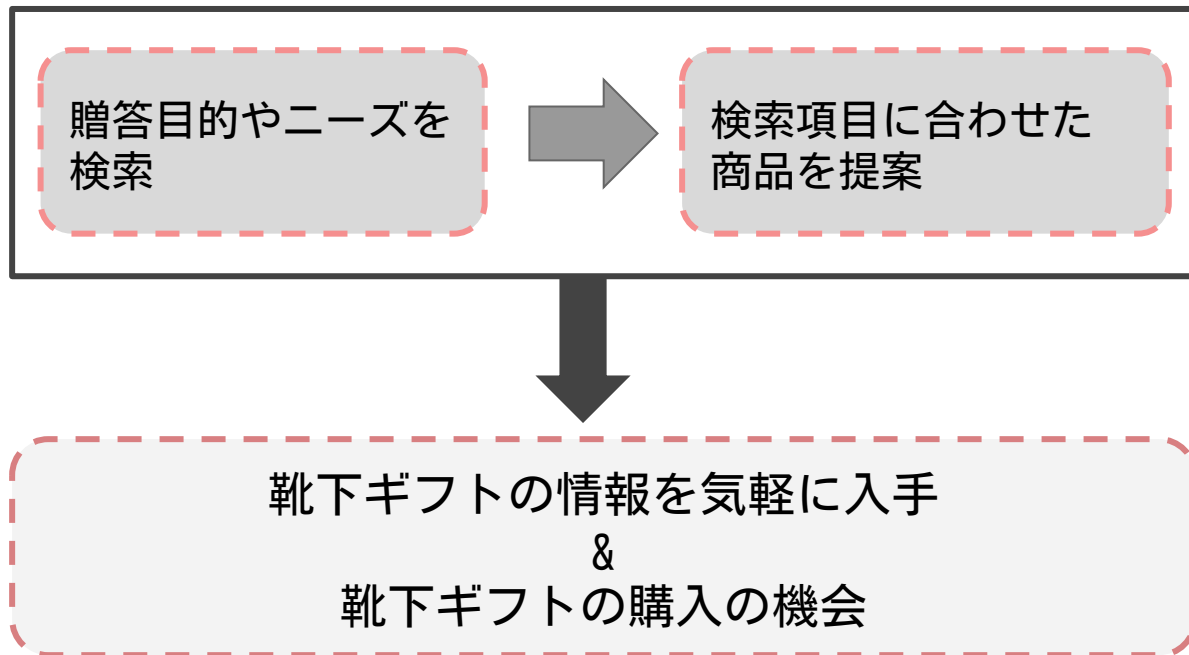


世界の BtoC-EC 市場規模 (単位：兆 US ドル)





<https://kako-socks.shop-pro.jp/>



新規オンラインショップ開設の問題点
製作費用、運営管理、PR方法 etc.

【ご相談したい点】

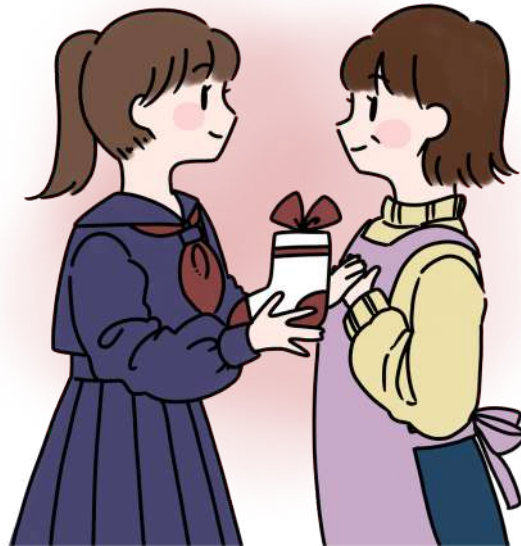
①贈答目的、相手を選択して
検索できるようにする

②掲載商品を追加し、参加企業数の増加させる

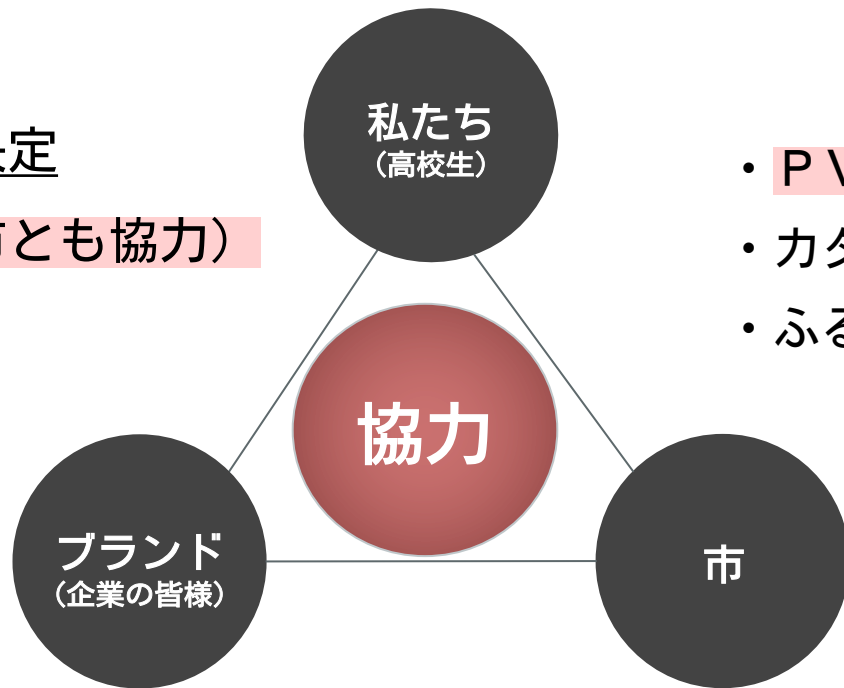
③レイアウト



5/8（日）の母の日を目処にプレブランド化を行い、提案した企画を行いたい



- ギフト用の商品決定
- Kipsとの連携（市とも協力）
- 発売場所の拡大

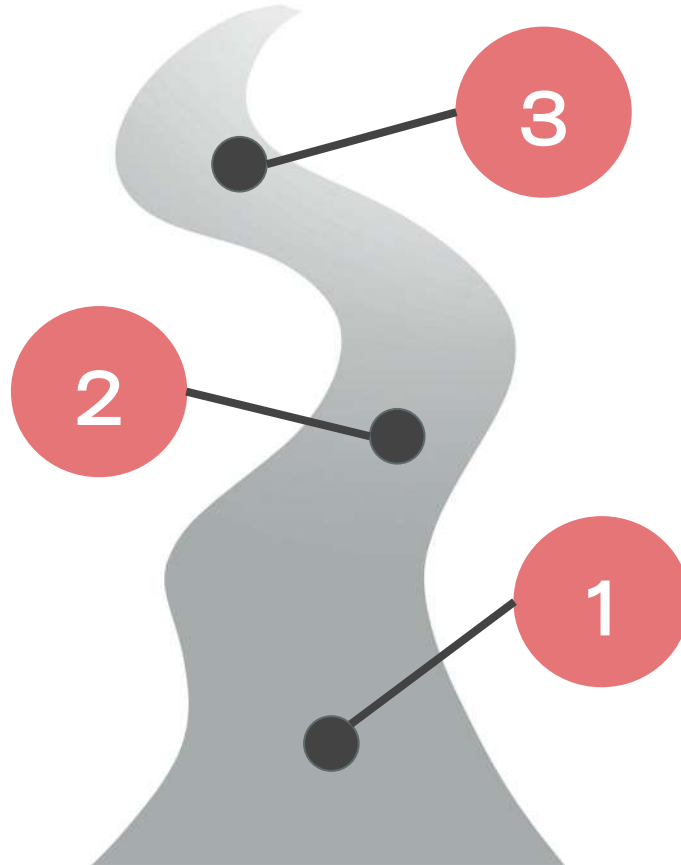


- PV作成
- カタログギフトを制作
- ふるさと納税を活用

- ブランドの枠組み作り
- ロゴマークやパッケージの決定

- オンラインショップ
- ギフトボックス×加古川の特産品
(国包建具etc.)

- ・ブランドづくり
- ・ギフトボックス
- ・オンラインサイト



- ・新商品開発
- ・ブランドの拡大

- ・プレブランド化



ブランド化で
加古川靴下を盛り上げる！！



参考文献

加古川市総合計画

<https://www.city.kakogawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kikakubu/kikakubukohoka/kakozawashinoseisakuzaisei/r3sougoukeikaku/index.htm>

RESAS 地域経済分析システム

<https://resas.go.jp/#/28/28210>

加古川市ホームページ

<https://www.city.kakogawa.lg.jp/>

今治タオル工業組合ホームページ

<https://itia.or.jp/>

日本靴下工業組合連合会

<http://www.is-hosiery.jp/member2.html>

兵庫県靴下工業組合

http://hyogosocks.or.jp/?nage_id=201

伝統工芸品産業審査会

<https://www.meti.go.jp/report/downloadfiles/e01117bi.pdf>

今治タオルプロジェクトの推移

<https://www.city.imabari.ehime.jp/eigyou-s/imabaribrand/imabaritowelproject.pdf?1>

兵庫県靴下工業組合

<http://hyogosocks.or.jp/kakogawa-socks/>

中小企業白書

https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2021/PDF/shokibo/00shakusyo_zentai.pdf

デジタル庁

files/uploads/documents/digital/20211010_digital_degree_02.pdf

謝辞

加古川市企画部スマートシティ推進担当課長 多田 功様

かこっとん株式会社 代表取締役 鷺尾 吉正様

ワシオ株式会社様

Code for Japan様

NECプロボノ倶楽部様

加古川市産業経済部 産業振興課 産業振興担当副課長 小巻 博様

加古川市産業経済部 産業振興課 工業振興係 田内 誠人様



以上の方々に謝辞を表します

ご清聴ありがとうございました





加古川市 × NEC
地域共創プロジェクト

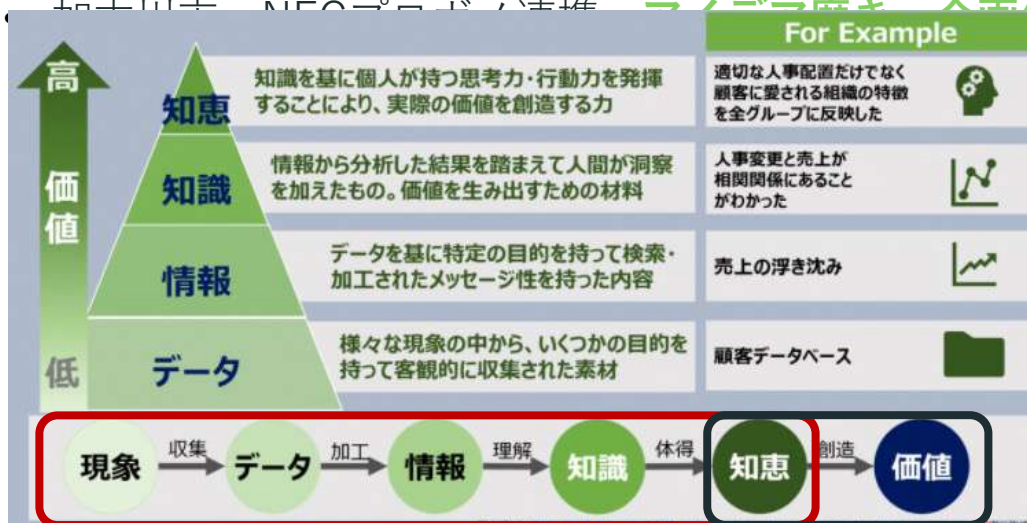
加古川東高等学校 との取組みについて

加古川東 × 加古川市役所 × NECプロボノ倶楽部

- 経済産業省 RESASを活用し、加古川市・Code for Japan連携。データ分析から**アイデア創出**。

加古川市・NECプロボノ連携

アイデア創出を「放課後プロフェッショナル」で



【特長】PBL型支援

プロボノによる放課後プロフェッショナル (STEAM教育の一環)

加古川東高校の生徒が抱える課題・アイデアに対し、社員が企業目線で課題の質を高めるフィードバックをする。また、解決策・手段を共有し、一緒に取り組む、実践的な共創活動



全体の振り返り（3チームの合計）

プロボノ活動期間 = **1か月**

NECプロボノの立候補者数 = **40名**、活動した人 = **15名**

高校生の捉えた地域課題（空き家解消、観光活性化、産業活性化）

オンラインコミュニケーション数 **300** 超え（Decidim活用）

オンライン会議数 **20回** 超（平均 1時間30分）

先生・高校生の反応から、**高い満足度** を獲得と推測



加古川市 × NEC
地域共創プロジェクト

先生からの声

当初想定していた以上の方々にお集まりいただき、ありがたかったです。

昨年に比べても、自分事としてとらえた発表であり、プロボノの方々の助言のお蔭だと考えています。

生徒の満足感も非常に高かったようで、市役所から帰る際も興奮状態でした。

NECの皆さま、多田さん、どうもありがとうございます。生徒にとっても社会で活躍されている方と直接話ができるプロジェクトを協働できる機会は本当に刺激的だと感じています。

今までの学校の教育活動にはなかった部分で、**教員としてもワクワクが止まりません。** 学校としても最大限協力いたしますので、今後ともよろしくお願ひします。

2月22日 市長プレゼン



加古川市 × NEC
地域共創プロジェクト